

2024年9月9日
商工中金

**災害発生時に多様な用途に応えられるテントやシートなどを供給する
広島県テント工業組合を金融面からサポート**

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、積極的にサポートしています。

商工中金（広島支店）は、広島県テント工業組合（本社：広島県広島市、代表者：馬淵 憲徹）に対し、災害発生時に必要となるテント・シートなどの緊急支援物資の仕入資金枠 2 億円を開設しました。

同組合は、広島県内のテント・シート等帆布製品の製造・加工・販売業者など 28 社で組織され、組合員の経営安定化・合理化を図るため、研修事業や調査研究事業を手掛けています。

2019 年 3 月に広島県と「災害時における物資の調達等に関する協定書」を締結、また、2021 年 8 月には岡山県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県のテントシート工業組合と「災害要請対応協力協定書」を締結しました。

これらの協定に基づき、同組合は、大規模災害発生時に広島県や近隣協定県からの要請により、必要なテント・シート類、避難所でプライバシー確保のための間仕切りなどを被災者に供給します。

商工中金は、このような災害発生時の取組みが被災地の復興・復旧に貢献するものと考え、同組合が迅速かつ機動的に資金の出し入れができるコミットメントラインを開設し、必要な資金を供給するスキームを構築しました。これにより災害発生時において、テント等の物資を供給する組合員に対し、緊急かつ安定的な資金供給が可能になります。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、関係機関等と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【広島県テント工業組合の概要】

所在地	広島県南区東雲本町 2 丁目 15-7
代表者	馬淵 憲徹
出資金	87 万円
組合員数	28 社（2024 年 3 月時点）
設立	1981 年 5 月